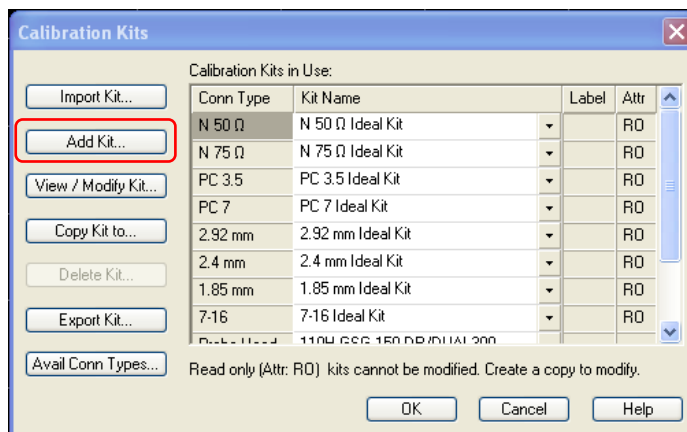


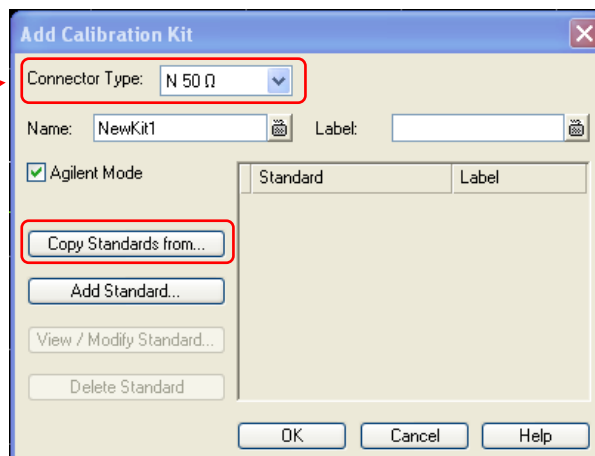
## 校正キットのマニュアル操作での入力方法

- 1) **CAL** キーを押します。
- 2) ソフトキーバーの **More** → **Cal Kits** を選択します。
- 3) Calibration Kits というウィンドウが現れるので、**Add Kit** を選択します。



- 4) Add Calibration Kit のウィンドウが現れます。コネクタのタイプを選択後、**Copy Standards from** を選択します。

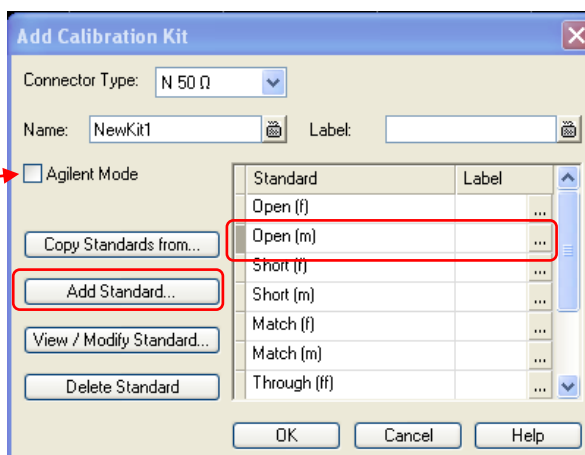
入力するコネクタの  
タイプを選択



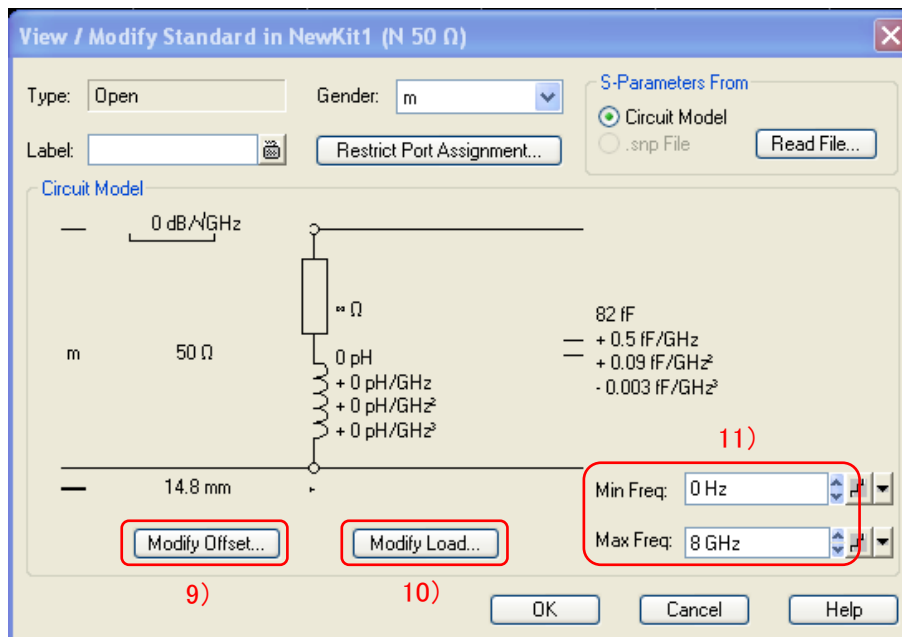
- 5) 変更する校正キットを選択し、**Add Standard** を選択します。(例: Open (m); オープンのオス)  
※m はオス、f はメスの校正キットとなります。

Agilent Mode の ON/OFF:

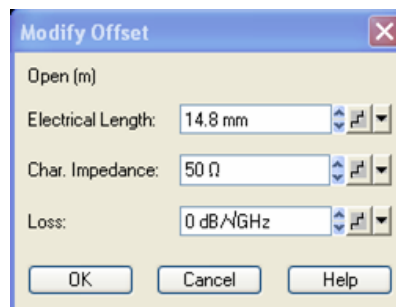
校正キットに入力するパラメータの変更  
(校正キットに添付されている、パラメータの  
表記方法に合わせて、ON と OFF を使い分けます)



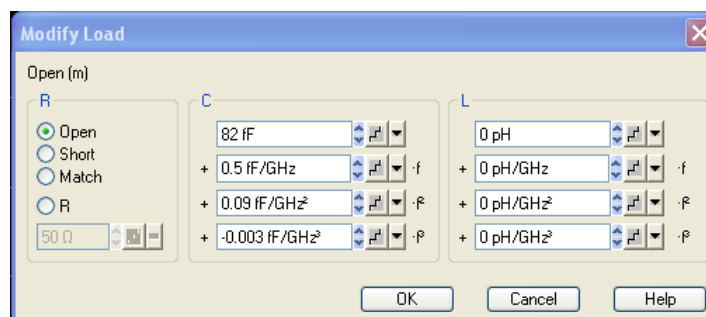
6) そうすると View / Modify Standard in 任意の名前(コネクタタイプ)のウィンドウが立ち上がります。



7) **Modify Offset**を選択すると、オフセット値を入力するウィンドウが現れるので、校正キットのデータシートに書かれている値を入力後、**OK**を選択してウィンドウを閉じます。



8) **Modify Load**を選択すると、校正キットの C 成分、L 成分を入力するウィンドウが現れるので、校正キットのデータシートに記載されている値を入力後、**OK**を選択してウィンドウを閉じます。

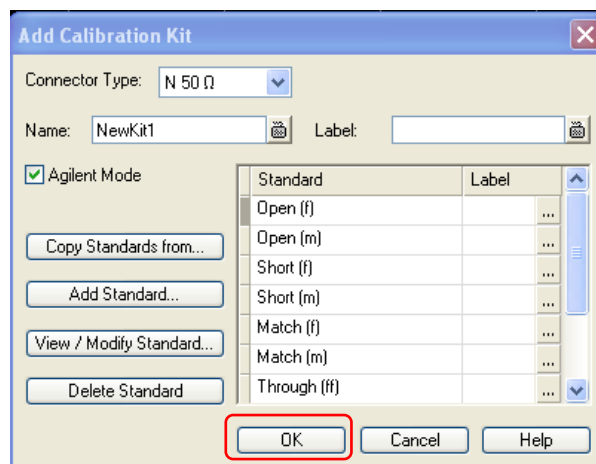


9) **Min Freq**に校正キットの使用できる最小の周波数、**Max Freq**に校正キットの使用できる最大の周波数を、校正キットのデータシートに記載されている通りに入力します。

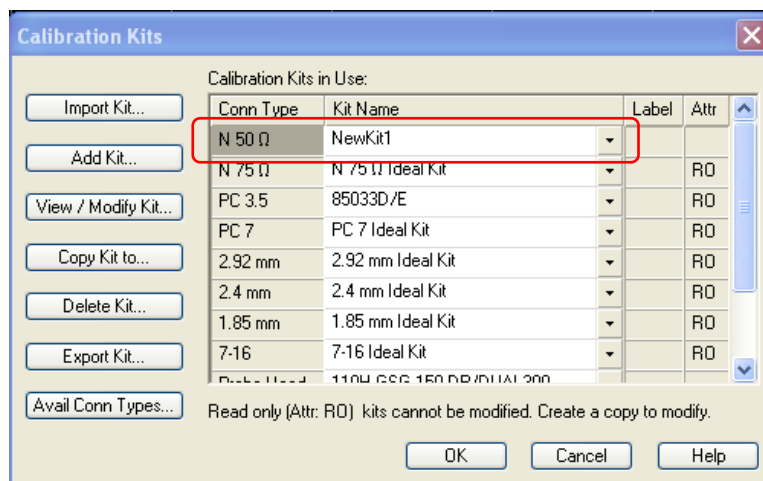
10) 入力が完了しましたら、**OK**を選択してウィンドウを閉じます。

11) 7~12 項の操作を、入力する全ての校正キットにおいて行います。

12) 全ての操作が終わりましたら、OK を選択します。



そうすると Add Calibration Kits のウィンドウが閉じ、Calibration Kits のウィンドウの中に、作成した校正キットが表示されるようになります。



OKを選択して、ウィンドウを閉じます。